

夏休み

治山教室の開催について

大井川治山センター

大井川治山センターと榛原川地区治山協議会では、8月3日（金）に小中学生を対象とした恒例の治山教室を静岡県川根本町の榛原川地区で開催しました。地元川根本町をはじめ島田市や藤枝市等、大井川の流域から中学生1名、小学生15名の計16名が参加しました。



ゴボウ薙工事箇所見学

好天に恵まれた朝、バスで出発し車内では森林の働きや治山事業につ

いて説明をしながら現地へと向かいました。

最初はゴボウ薙治山工事箇所の見学です。着手前の写真と復旧途上の現況及び完成予想図の説明に興味深く聞き入っていました。



測量体験

続いて光波測距儀を使用するの測量体験です。2班に分かれて距離の測定を体験した後、測点を示して目で距離を当てるクイズを実施しました。成績優秀者には賞品があると告げると子供たちの表情が一変し、真剣に答えを記入していました。その後、光波で測定し実測値を発表し、成績優秀者の発表は後のお楽しみというところで、次は移動しました。

休憩を挟んで、次は立木調査体験

です。輪尺、測桿、バーテックス等の使い方を教えて、胸高直径や樹高の測定を行いました。ここでも樹高の目測クイズを実施しました。「これも賞品があるよね」と念押ししつつ子供たちは真剣な表情で樹高を測定していました。



立木調査体験

昼食休憩の後は、榛原川地区最大の崩壊地であるホーキ薙治山工事箇所に向かいました。現地では日頃、目にするのではない迫力ある工事施工地に感嘆の声が上がりました。

そしていよいよ子供たちが楽しみにしていた重機の搭乗体験です。大井川3台のバックホウの操縦席に3班に分かれた子供たちがかけあがりました。一人1回4分で交代、全員が3台すべてを操縦することになり、

予定した時間は瞬く間に終了です。子供たちのブーイングを抑えて閉会式へと進めました。



重機搭乗体験

閉会式の後半でクイズの成績優秀者を表彰しました。賞品はミヤマクワガタと手作りの木製ボールペンセットです。参加者全員へのお土産はカブトムシやコクワガタです。最後にふたたび子供たちの目が輝きました。帰りのバスの中では、森林や治山事業についての難しい質問も飛びだし、答えに窮する場面もありましたが、子供たちが想像以上に理解して、興味を持っていることが確認できて、参加した子供たち、主催者共々有意義な一日となりました。